

28日機輸総企第278号

平成29年1月26日

組合員各位

日本機械輸出組合

専務理事 倉持 治彦

JMC 海外危機管理セミナーの開催について

1. 「緊迫する北朝鮮、緊急事態における韓国派遣者の対処態勢」
2. 「世界で頻発するテロに対する海外派遣者の安全対策」

平素より組合員の皆様には当組合の運営に大変お世話になっております。

この度、標記のテーマで危機管理セミナーを開催致します。

朝鮮半島情勢は、北朝鮮による相次ぐ核実験とミサイル発射実験により緊迫の度合いが急速に高まっており、第一テーマでは「緊迫する北朝鮮、緊急事態における韓国派遣者の対処態勢」について北朝鮮問題専門家よりお話を伺うことといたしました。

また、一昨年11月のパリ同時多発テロ以降、フランス、ベルギー、アメリカ、ドイツ、バングラディシュ、トルコなど日本企業が多く進出している国でテロが連続して発生しており、第二テーマでは、「世界で頻発するテロに対する海外派遣者の安全対策」について、採り上げることといたしました。

海外危機管理御担当者の多数のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時 平成29年2月21日（火）14：30～17：00
2. 場所 日本機械輸出組合第一会議室
東京都港区芝公園3丁目5番8号（機械振興会館4階）
アクセス（下記URLの地図参照）
<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>
3. 参加費 無料（組合員限定）
4. テーマ
(1) 緊迫する北朝鮮、緊急事態における韓国派遣者の対処態勢の検討
〈時間〉 14：30～16：00（90分）
〈講師〉 軍事戦略評論家（軍事・情報戦略研究所長） 西村金一氏

〈内容〉①北朝鮮の軍事的脅威の特色、軍事力、攻撃の特色

②もし北朝鮮が南侵（挑発）すると、どのような様相になるか

③地上侵攻作戦で、どうなるのか(攻撃目標、攻撃範囲など)

④北朝鮮軍の侵攻に対して、韓国駐在員・出張者はどのように対処すべきか

⑤北朝鮮危機事態における図上訓練のお勧め

(2) 世界で頻発するテロに対する海外派遣者の安全対策

〈時間〉 16:10～17:00 (50分)

〈講師〉 安全サポート株式会社 代表取締役 有坂 錬成氏

〈内容〉①テロの発生状況と分析

②テロに巻き込まれないための対策

③社員派遣国でテロが発生したときの対応

④テロに遭遇したときの対処方法

5. 講師プロフィール

(1) 軍事戦略評論家（軍事・情報戦略研究所長） 西村金一氏

陸上自衛隊の精鋭部隊を経て、防衛省統合幕僚部、情報本部などで情報分析官として勤務、北朝鮮情報の分析などに従事。退官後は三菱総合研究所国際政策研究グループ専門研究員、ディフェンス・リサーチ・センター研究委員、日本安全保障・危機管理学会理事などを経て現職に至る。「詳解・北朝鮮の実体」（原書房）、「自衛隊は尖閣紛争をどう戦うか」（祥伝社）など著書多数。TV タックルなどテレビにも多数出演。

(2) 安全サポート株式会社 代表取締役 有坂 錬成氏

住友海上火災保険株式会社入社後、本社国際部、デュッセルドルフ駐在員を経てミュンヘン事務所長就任、平成11年外務省に出向し「海安協ホームページ」の立上げ、「誘拐対策マニュアル」の編集を担当。2005年に安全サポート(株)を設立、代表取締役に就任。主な活動は、海外危機管理に関するマニュアル作成、コンサルティング危機発生時の対応アドバイス、講演活動など。今年度、外務省との共催による海外進出企業向け「安全対策セミナー」講師。

6. お申し込み方法

【定員】 50名（先着順）

【参加費】 組合員限定・無料

お申込みは、お手数ですが、当組合HPの「セミナーご案内」（下記URL）からお願いいたします。恐縮ですが、平成29年2月15日（水）までにお申し込み頂ければ幸いです。

(<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm#support>)

HP からの申込が難しい方は、Eメール (yokozeki@jmcti.or.jp) でご連絡下さい。

- ・受講券等はお送りしませんので、当日、会場受付にて御名刺をご提出下さい。
- ・定員になり次第、恐縮ですが締め切らせていただきます。

(本件問合せ先)

日本機械輸出組合 総務企画グループ 横関、金丸

[TEL:03-3431-9560](tel:03-3431-9560) E-Mail: yokozeki@jmcti.or.jp

以上